

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●梓連のJRA史上最高払戻金記録更新

7月9日(日)の2回福島4日・第4レースでは、5枠9番のポールドトップ(15頭立て13番人気/単勝オッズ326.2倍)が1着、5枠8番のダズリングダンス(10番人気/72.8倍)が2着に入り、梓連5-5の払戻金は14万9110円(35通り中35番人気/合計票数13万6605票/的中71票)となりました。これは1970年に記録された12万3410円を53年ぶりに更新する、梓連のJRA史上最高払戻金となります。

### ●WASJの出場騎手決定

8月26日(土)と27日(日)、札幌競馬場で開催される「2023ワールドオールスタージョッキーズ(WASJ)」のJRA代表騎手7名および地方競馬所属騎手1名が決定しました。JRAからは昨年の「MVJ」受賞者である戸崎圭太騎手のほか、川田将雅騎手、横山武史騎手、武豊騎手、クリストフ・ルメール騎手、岩田望来騎手、坂井瑠星騎手が参加。地方競馬代表は宮川実騎手(高知)となりました。

### ●セレクトセール2023開催

7月10日(月)と11日(火)の2日間にわたり、北海道苫小牧市のノーザンホースパークにおいて「セレクトセール2023」(主催・一般社団法人日本競走馬協会)が開催されました。初日の1歳馬セッションは上場222頭(牡130頭・牝92頭)、落札216頭(牡126頭・牝90頭/落札率97.3%)、落札総額は133億6500万円。最高額はインクルードベティの2022(牡/父はキタサンブラック、母は米G1マザーグースS勝ち馬)およびパレスルーマーの2022(牡/父シルバーステート、兄はジャスティンパレス)で、ともに3億1000万円でした。2日目の当歳馬セッションは上場231頭(牡137頭・牝94頭)、落札219頭(牡129頭・牝90頭/落札率94.8%)、落札総額は147億8000万円。最高額はコンヴェクションⅡの2023(牡/父はコントレイル、母はアルゼンチンG1勝ち馬)で5億2000万円でした(金額はすべて税別)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ミックファイアがジャパングートダービー(大井)で三冠達成

ジャパングートダービー(Jpn I、3歳、7月12日、大井、2000<sup>米</sup>)は、5番手前後を進んだ1番人気の大井所属馬ミックファイア(御神本訓史騎手、牡、父シニスターミニスター)が残り50<sup>米</sup>で差し切り、デビュー以来の連勝を6に伸ばしました。キリンジが2馬身半差の2着に入り、逃げた3番人気のミトノオーは3着、2番人気のユティタムは4着、オーロイブラータは5着、ゴライコウは6着、オマツリオトコは9着、テーオーリカードは最下位の11着でした。

### ●宮川実騎手(高知)が地方競馬ジョッキーズCSに優勝

5月23日の盛岡、7月6日の園田で計4戦のポイント制で争われた2023地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップは、2、9、9、1着の宮川実騎手(高知)が総合優勝を果たし、2023ワールドオールスタージョッキーズの地方競馬代表候補騎手となりました。

### ●バーデンヴァイラーらが参戦、7月17日のマーキュリーC(盛岡)

マーキュリーC(Jpn III、7月17日、盛岡、2000<sup>米</sup>)は、前年の覇者バーデンヴァイラーが一歩リードも、昨年クビ差2着の牝馬テリオスベル、今年好調のメイショウフンジン、GⅢ2勝馬サンライズホープ、かきつばた記念を制したウイルソンテソーロと、JRA所属馬5頭全てにチャンスがありそうです。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●エクリプスS~パディントンがG1・3連勝

現地7月8日にイギリスのサンダウン競馬場で行われたG1エクリプスS(3歳上、芝1990<sup>米</sup>)は、R.ムーア騎手を背に4頭立ての2番手で流れに乗ったパディントン(牡3歳、父シユーニ、愛A.オブライエン厩舎)が最後まで追いつかなかったG1コロネーションCとG1英チャンピオンズフィリーズ&メアズSの勝ち馬エミリアアップジョンに半馬身差をつけて優勝しました。パディントンはこれで昨年10月にデビュー2戦目で挙げた初勝利から6連勝で、G1は愛2000ギニー(芝1600<sup>米</sup>)、セントジェームズバレスS(芝1590<sup>米</sup>)に続く3連勝となりました。

### ●G1サンクルー大賞~ウエストオーバーが記録勝ち

フランスのサンクルー競馬場を舞台に7月8日に行われたG1サンクルー大賞(4歳上、芝2400<sup>米</sup>)は、R.ホーンビー騎手とのコンビで5頭立ての3番手につけたウエストオーバー(牡4歳、父フランケル、英R.ベケット厩舎)が直線で力強く抜け出すと、G1ドバイシーマクラシック3着のザグレイに2馬身差をつけて優勝しました。勝ちタイムの2分25秒46はレースレコードです。勝ったウエストオーバーは昨年のG1愛ダービー(芝2400<sup>米</sup>)の勝ち馬。今年初戦となったG1ドバイシーマクラシックがイクイノックスの2着、続く前走のG1コロネーションCもエミリアアップジョンの2着でした。